

氏名	藤井智香子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第5252号
学位授与の日付	平成27年12月31日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Analysis of the Synthetic-HTP drawing test about Developmental Disorders (統合型HTP法の発達障害についての分析)
論文審査委員	教授 山田了士 教授 浅沼幹人 准教授 吉永治美

学位論文内容の要旨

我々は統合HTP法 (synthetic House-Tree-Person drawing test) (以下S-HTP) を施行時に3つの課題を1枚に描くことはできないが、従来のHTP法または樹木画テストは施行可能な症例を認めた。このような症例を検討し「1枚に3つの課題をまとめて描くことができない」所見 (以下, no synthetic sign) の病的意義を明らかにしようとした。2007-2012年に岡山大学病院小児科心身症外来に受診した283人にS-HTPを教示した。241人の患者はS-HTPを完成することができた。S-HTPは出来なかったが、HTPまたは樹木画テストを描くことが出来た患者が22人で、「no synthetic sign」の患者には2つのタイプがあった。1つは精神年齢がS-HTPが施行可能とされる5年11ヵ月より低いと思われた患者、第2のタイプは自閉症スペクトラム障害患者であった。

論文審査結果の要旨

本研究は、小児心身症外来を受診した患者において、S-HTP法と呼ばれる描画心理テストの一つを用いた研究で、課題が行えない (no synthetic signのある) 群では自閉スペクトラム障害 (ASD) を持った児が多いことを示した。ASDのスクリーニングには使えないものの、小児科医などの心理系非専門家にも簡便に判定が可能な方法であり、no synthetic signがあればASDを疑う端緒とできる可能性がある。S-HTPの発達障害との関連における分析的調査は他に例がなく、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。